

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 542

事務事業名	旧楠本正隆屋敷管理運営事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島恵利子	内線	375
担当者名	松川憲毅	内線	372

基本目標		人を育むまち
政策	010301	文化の振興と生涯学習の充実
施策		文化財の保護・活用・継承
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	320000	旧楠本正隆屋敷管理運営事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	旧楠本正隆屋敷の入場者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	県・市指定文化財である旧楠本正隆屋敷の維持管理を行い、一般公開する。 屋敷を活用した文化イベントを実施し、文化財の価値や重要性、保存について理解を深めてもらう。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	屋敷を適切に管理運営し、指定文化財として市民などに公開する。 春、夏、秋の各時期に期間限定の資料の展示と文化団体と連携したイベントやコンサートなどを実施し、市民や観光客への屋敷の周知を行う。		
事業期間	平成 14 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	旧楠本正隆屋敷公開条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① イベント開催日数	計画値	34	34	34	34	
		実績値	35	28	28		
		達成度	102.9%	82.4%	82.4%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 年間入場者数	計画値	4,200	4,000	4,000	4,000	
		実績値	2,940	3,480	2,849		
		達成度	70.0%	87.0%	71.2%		
	② イベント入場者数	計画値	1,700	1,500	1,500	1,500	
		実績値	1,157	1,541	1,265		
		達成度	68.1%	102.7%	84.3%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,330	4,915	4,410	4,725	5,014	5,014	5,014	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	506	506	413	512	314	400	400	
一般財源	3,824	4,409	3,997	4,213	4,700	4,614	4,614	
② 人件費(千円)	4,969	3,502	1,966	2,361	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.59	0.44	0.25	0.29	屋敷の管理運営	屋敷の管理運営	屋敷の管理運営	
時間外勤務(時間)	94	42	55	80	イベントの実施	イベントの実施	イベントの実施	
嘱託等人数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05				
フルコスト(①+②千円)	9,299	8,417	6,376	7,086				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	屋敷建物及び庭園の樹木等について、緊急を要するものから補修等の措置を行っている。イベント時には観光コンベンション協会と積極的に連携を行い、新たな企画の試み(「着物無料デー」、荒木十畝作品展示など)も行っている。また、イベント開催期間の見直しも行っている。市の観光政策と連携するため、市主催行事等について必要に応じて入館料を減免するなど支援を行っている。展示資料については随時見直しを行い、イベント等に応じて展示替えを行っている。
事業が抱える問題・課題等	屋敷建物本体の要補修箇所に加え、近年庭園の樹木に枯死するものや病虫害の影響が見られる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
屋敷の活用と維持・管理を一体的に進めているが、屋敷の損耗に対応していくためには、最低限の経費であり、屋敷の文化的な価値を減らさないためにも、これ以上の削減はできない。 入場料及び和室使用料は定期的に見直す。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	建物及び庭園の樹木について、必要な部分の補修等の措置を実施しているが、必要箇所が多くなっているため、今後も措置を要する箇所をチェックし、計画的に行う。年間のうち観光シーズンの来館者が多くを占めることから、関係機関との連携を継続し、イベントの企画内容や開催期間等について随時見直しを行う必要がある。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。